

社会を明るくする運動

7月1日、「社会を明るくする運動」として、大島地区保護司会と大島地区更生保護女性会が、町内をパレードし街頭宣伝を行うとともに、各庁舎で法務大臣からのメッセージを伝達しました。

社会を明るくする運動は、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生への理解を深める全国的な運動です。7月は運動の強化月間となっており、各地でキャンペーンが行われました。

地域ぐるみで災害に備えましょう

6月20日、山口県大島防災センターにおいて、自主防災リーダー研修会が開催されました。この研修会は自主防災活動を行う人材の育成や、自主防災組織の新たな結成と活性化を促進することが目的で、山口県東部の市町から約100名、うち町からも40名が参加しました。

午前中の講演・講座の後、午後からは、災害図上訓練を地域ごとに実施しました。

災害図上訓練とは、自分たちの地域の状況を地図上へ書き込み、自分たちの住むまちに起こりうる災害像をより具体的にイメージし、災害に備えることを目的とした訓練です。

自分が住んでいる地域を探索し、災害時に危険な場所や、防災上役立つ場所等を整理し、地域ぐるみで災害に備える中で、防災活動を地域活動の一つとして持続することが地域の防災力の大きな力となります。



▲椎木町長へメッセージを伝達する新山玄雄会長（大島地区保護司会）

姉妹島のハワイ州カウアイ島から フラミュージックがプレゼントされました

周防大島町と姉妹島のカウアイ島から、フラミュージック2曲がプレゼントされたことに伴い、6月23日に伝達セレモニーが役場大島庁舎ロビーにて開催され、アロハ大使のアロハ大島フラハーツの子どもたちが、曲に合わせてフラダンスを披露しました。

プレゼントされた曲は、姉妹島交流の次世代を担う子どもたちのために作られた曲で、フラダンスは遊びの中で楽しく学びながら踊れる、「お遊戯フラ」となっています。

今後は町内の保育所・保育園を通じて、曲とフラダンスを広めていく予定です。



▶ 伝達式で、子どもたちが曲の入ったCDを椎木町長へ手渡しました。



▲フラダンスを披露するアロハ大島フラハーツの子どもたち。